

第2学年 美術科学習指導案

題材名 多様な表現を求めて 10時間完了（本時 1／10）
（日本文教出版 『中学美術 2・3上』 P.8-9）

題材のねらい

美術の表現の多様さや独特な表現形式・表現方法に関心を深め、材料の特徴などを生かして独自の世界を表現する。

本時のねらい

鑑賞を通して、材料が持つ特徴からのイメージの触発について理解し、そのプロセスで創造的な思考ができる。

準備物

教科書、フリードマンの図版資料、いくつかの材料（ひも、クリップなど）

本時の学習活動

時間	学習活動の流れ	指導上の留意点
導入 15分	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループごとにトム・フリードマンの図版資料を鑑賞し、使われている材料を考え、意見を書き出す。 2 使用された材料と作品の様子から作者の作品に込めたメッセージを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な材料を使用しているフリードマンの《GREEN DEMON》を取り上げ、考えさせることで興味を持たせる。 ・題名と使われている材料から推測させ発表する。
展開 15分	<ol style="list-style-type: none"> 3 教科書のアンドレ・フランソワの作品を解説し、素材が触発するイメージについて説明する。 4 フリードマンの他の作品を鑑賞しながら、材料の持つどのような特徴に触発されてイメージ化したのか考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フランソワの言葉を引用しながら、素材に触発されたイメージ化について解説する。 ・ここではテーマから材料を選択し材料からイメージが生まれてくるという創造のプロセスを理解させる。 ・考えやすいように、作品は単一の素材で制作された物を選択したい。
深める 10分	<ol style="list-style-type: none"> 5 身の回りにある様々な材料を集め、どんな特徴を持ち、イメージにつながるか想像してみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・針金、ビー玉、クリップなど、いくつかの性質の異なる材料を取り上げ、発表させる。 ・特徴やイメージ化は言葉による表現で明らかにしたい。
まとめ 10分	<ol style="list-style-type: none"> 6 あいちトリエンナーレ2010にて、フリードマンをはじめとする現代作家の作品を鑑賞することを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞のポイントは材料と表現の関係、とくに様々な材料の使い方とその特徴を生かした多様な表現について視点を持ちたい。

評 価

材料の特徴を感じ取り、そこからイメージを触発するプロセスを理解し、自らの創作表現に活用することができる。

事前授業用ワークシート 多様な表現を求めて 氏名 _____

トム・フリードマンの作品1 題名 Green Demon

どんな材料で作られているのだろう

1

フリードマンからのメッセージは?

2

アンドレ・フランソワからの一言

3

フリードマンは材料のどんな特徴に触発されたのだろう

フリードマン作品2 材料の特徴

フリードマンが触発したイメージ

フリードマン作品3 材料の特徴

フリードマンが触発したイメージ

フリードマン作品4 材料の特徴

フリードマンが触発したイメージ

4

材料の形や性質から受けるイメージをズバリ一言で言うと

材料1の特徴を一言で言うと

の特徴を一言で言うと

材料2の特徴を一言で言うと

の特徴を一言で言うと

材料3の特徴を一言で言うと

5